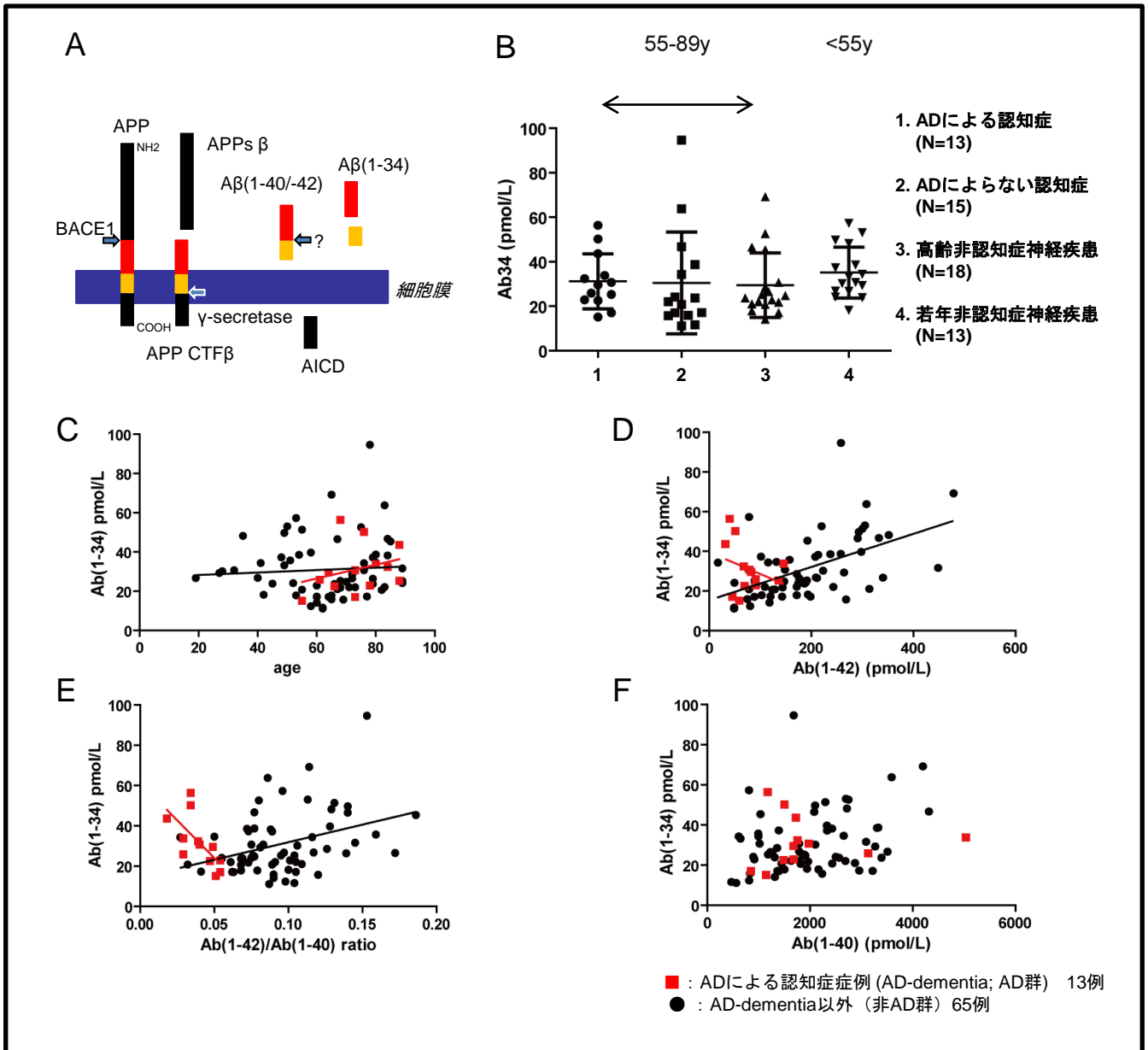


脳脊髄液中Aβ(1-34)の定量的検討研究

研究分担者：筑波大学医学医療系神経内科学 玉岡 晃



解説

1. 先行研究から、Aβ(1-34)はAβ(1-40/-42)が分解されて生じる可能性がある(A)。
2. 脳脊髄液中のAβ(1-34)量を測定した。その平均値は30 pmol/l程度であり、性別のほか、認知症の有無や、認知症の原因がADであるか否かによる有意差を認めなかった (B)。年齢との相関も認めなかった(C)。
3. Aβ(1-34)量は、ADによる認知症症例 (AD-dementia) ではない群 (非AD群) においてAβ(1-42)と軽度の正の相関(D)を、AD-dementiaの群 (AD群) でAβ(1-42)/Aβ(1-40)比と負の相関を示した(E)。対照的に、Aβ(1-40)との相関は、AD群、非AD群ともに認めなかった(F)。
4. 脳脊髄液中のAβ(1-34)量はAβ(1-42)に関連し、採取後のアーチファクトではなく、ヒト生体内におけるAβの動態を反映する可能性がある。